

II 重点事項（北上市地域福祉活動計画 基本目標）の活動状況

基本目標1 地域福祉を担う人づくり

- 市民福祉大会は、3年ぶりに新型コロナウイルス感染症流行以前の規模で開催し、講演等を通じ地域共生社会の実現に向けて関係者の共通理解を図りました。
- 福祉協力員は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後もコロナ禍の影響により外出や交流の機会が減少した高齢者等に対する訪問活動等を行い、ふれあいデイサービス等への参加の声かけをはじめとし、孤独感の解消やフレイル（運動や認知機能の低下）予防に努めました。
- 企業等からのボランティア活動や地域貢献活動の照会に対して、支援を必要としている方や団体について情報を提供し、新たにボランティア活動に取り組む企業等が増加しました。
- 市内学校（小・中・高校及び専門学校）の先生を対象に、福祉教育及びボランティア活動の更なる充実に向けて、現在の取組状況や課題、今後の推進などについて意見交換を行いました。

(1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 きたかみ社協だより発行事業 (1) きたかみ社協だより ① 発行回数：4回 (発行月：4月、7月、9月、2月の第3週金曜日に発行) ② 発行部数：155,681部 (1回 約38,920部)	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓発を図りました。また、特集記事を掲載するなど紙面の構成を工夫し作成・発行しました。 なお、発行回数の減回に伴う情報量や適時性等については、ホームページやFacebookページを有効に活用し可能な限り補完しました。 【指標】 広報発行 年4回
(2) ボランティア通信 ① 発行回数：2回（社協だよりに折込み） ② 発行部数：77,679部 (1回 約38,840部)	ボランティアに関する情報を収集し、「ボランティアみみより情報」として全世帯に配布し、ボランティア活動に関する情報提供や意識の啓発を図りました。
(3) ホームページ等の運営、管理 ① ホームページアクセス数：9,105回 ② Facebookページアクセス数：6,270回	時機にあった情報提供・発信をするため、「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページ及びFacebookページを活用し、効果的・多角的な情報発信を行いました。 特にもFacebook活用の強化を図り、活動の見える化を意識した情報発信を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 市民福祉大会</p> <p>(1) 第32回北上市民福祉大会</p> <p>① 期 日：5年11月29日（水）</p> <p>② 会 場：さくらホール（大ホール）</p> <p>③ 参加者：600名</p> <p>④ 表 彰：35名、1団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業功労者 3名 ・社会福祉奉仕功労者 31名、1団体 ・褒賞（自立更生） 1名 <p>⑤ 記念講演</p> <p>演題：「将来に向けて今から行う福祉活動、地域づくりのヒント」</p> <p>講師：いちのせき市民活動センターセンター長 小野寺浩樹 氏</p> <p>⑥ オープニングステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人和江会わがの里保育園「ジャンボリミッキー」 <p>⑦ 出店販売（7団体）</p> <p>あけぼの、しらゆり工房、とばせ園、萩の江、北萩寮、ワークステーションきたかみ、ハートショップまごころ</p>	<p>支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更なる努力を誓い合い、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、3年ぶりに以前の規模で開催し、講演等を通じ地域共生社会の実現に向けて関係者の共通理解を図ることができました。</p> <p>【指標】参加者1,000名</p>
<p>(2) 第76回岩手県社会福祉大会</p> <p>① 期 日：5年11月16日（木）</p> <p>② 会 場：岩手県民会館（大ホール）</p> <p>③ 表 彰：4名（北上市分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 民生委員・児童委員 3名 ・岩手県社会福祉大会長褒賞 在宅介護者 1名 	<p>県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 ふれあい20歳のつどい</p> <p>① 期 日：6年1月7日（日）</p> <p>② 会 場：ホテルシティプラザ北上</p> <p>③ 参加者：76名（うち新成人14名、家族19名）</p> <p>④ 内 容：記念写真撮影、式典 ウクレレ演奏</p>	<p>心身に障がいを持つ20歳の方とその家族を対象に、節目のお祝いと今後の活躍を祈念し式典を実施しました。</p> <p>また、北上市20歳のつどいと連携を図り、誘導や付添者の入場等に配慮し、当つどい又は北上市20歳のつどいいずれかに参加できるよう環境づくりに努めました。</p> <p>【指標】出席率100%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 敬老会事業への支援【市交付金事業】</p> <p>① 実施箇所数：67地区 ・通常開催(式典等実施)49地区 ・記念品配付 18地区</p> <p>② 該当者：13,914名</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、開催に不安のある地区等に配慮し、引き続き、地域の実情にあわせて開催方法を選択する形で行いました。また、例年同様、北上市の交付金に加え、当協議会からも助成金を交付し、開催を支援しました。</p> <p>なお、市において実施した敬老会に関するアンケート調査結果等をもとに、今後の敬老会の方向性等について、市と協議を行いました。</p> <p>【指標】出席率30%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等														
<p>5 地域福祉懇談会</p> <p>(1) 地域福祉懇談会</p> <p>① 期 間：5年7月4日から7月14日</p> <p>② 参加人数：480名</p> <p>③ 実施箇所：14カ所（支部別参加人数）</p> <table border="0"> <tr> <td>・黒沢尻北 44名</td> <td>・黒沢尻東 46名</td> </tr> <tr> <td>・黒沢尻西 38名</td> <td>・立 花 23名</td> </tr> <tr> <td>・飯 豊 34名</td> <td>・二 子 19名</td> </tr> <tr> <td>・更 木 31名</td> <td>・黒 岩 19名</td> </tr> <tr> <td>・口 内 15名</td> <td>・稲 瀬 22名</td> </tr> <tr> <td>・相 去 50名</td> <td>・鬼 柳 30名</td> </tr> <tr> <td>・江 釣 子 53名</td> <td>・和 賀 56名</td> </tr> </table> <p>(2) 北上青年会議所との懇談会</p> <p>① 期 日：5年10月20日（金）</p> <p>② 会 場：スパットビル3階</p> <p>③ 参加者：12名(青年会議所6名、社協6名)</p> <p>④ 内 容：情報及び意見交換 「懇談会実施の経過及び総括」 「地域づくり・まちづくりと一体となった地域福祉力向上のための具体的な取り組みについて」</p>	・黒沢尻北 44名	・黒沢尻東 46名	・黒沢尻西 38名	・立 花 23名	・飯 豊 34名	・二 子 19名	・更 木 31名	・黒 岩 19名	・口 内 15名	・稲 瀬 22名	・相 去 50名	・鬼 柳 30名	・江 釣 子 53名	・和 賀 56名	<p>北上市が策定した「第3次北上市地域福祉計画」と当協議会が策定した「第4次北上市地域福祉活動計画」の最終年度に当たることから、次期計画の策定に向けた考え方等を説明するとともに、地域の福祉課題や福祉全般に関わる情報及び意見交換を行いました。</p> <p>特に福祉に携わる担い手の確保については、地域住民に関する情報提供、福祉に携わる関係者の負担軽減、若年層の福祉活動に対する意識の醸成を図ることが担い手を確保するうえで大切である等、次期計画の策定や今後の福祉活動を推進するうえで、参考となる意見交換を行うことができました。</p> <p>また、福祉関係者以外の方や若い世代の方と意見交換を行うことを目的に、北上青年会議所と懇談会を行い、担い手の確保や若い世代の地域福祉活動への参加など、今後当協議会で取り組むべき課題や解決に向けた方向性、今後期待される取り組みについて意見交換することができました。</p> <p>【指標】参加者750名</p>
・黒沢尻北 44名	・黒沢尻東 46名														
・黒沢尻西 38名	・立 花 23名														
・飯 豊 34名	・二 子 19名														
・更 木 31名	・黒 岩 19名														
・口 内 15名	・稲 瀬 22名														
・相 去 50名	・鬼 柳 30名														
・江 釣 子 53名	・和 賀 56名														

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>6 あいさつ運動推進事業</p> <p>① 黒沢尻北地区</p> <p>実施期間：5年4月1日～5月31日</p> <p>のぼり旗設置：6カ所（公民館）</p> <p>ポスター掲示：6枚（公民館）</p> <p>チラシ配布：5,500枚（全戸配布）</p>	<p>地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に“あいさつ”を行う強化月間を設定し、近隣同士の助け合い精神を醸成しました。</p> <p>また、運動を推進するために必要な資機材（のぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター）を準備し、取組地区をはじめ、市民に対する意識啓発を図りました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>② 黒沢尻東地区 実施期間：5年4月1日～4月28日 のぼり旗設置：12カ所（通学路、公民館等）</p> <p>③ 黒沢尻西地区 実施期間：5年4月11日～4月28日 のぼり旗設置：37カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：9枚（行政区掲示板、公民館等） チラシ配布：249枚（地区内回覧）</p> <p>④ 立花地区 実施期間：5年5月8日～5月19日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター） ポスター掲示：1枚（交流センター） チラシ配布：67枚（地区内回覧）</p> <p>⑤ 飯豊地区 実施期間：5年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：1カ所（交流センター） ポスター掲示：1枚（交流センター）</p> <p>⑥ 二子地区 実施期間：5年5月1日～5月31日 のぼり旗設置：6カ所（交流センター、小中学校等） ポスター掲示：26枚（自治会掲示板、小学校等） チラシ配布：1,120枚（全戸配布）</p> <p>⑦ 更木地区 実施期間：5年4月7日～5月12日 のぼり旗設置：8カ所（主要道路、小学校等） ポスター掲示：8枚（自治会掲示板等） チラシ配布：40枚（地区内回覧）</p> <p>⑧ 黒岩地区 実施期間：5年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：3カ所（通学路等） ポスター掲示：2枚（交流センター、掲示板） チラシ配布：19枚（地区内回覧）</p> <p>⑨ 口内地区 実施期間：5年4月10日～5月31日 のぼり旗設置：1カ所（交流センター） ポスター掲示：10枚（交流センター、公民館等） チラシ配布：30枚（地区内回覧）</p>	<p>地域の既存の取り組みと併せて実施する方法の提案により、全地区で取り組みを行うことができました。</p> <p>【指標】取組地区14カ所</p> <p>以下は、事業名、内容及び実績の続き</p> <p>⑩ 稲瀬地区 実施期間：5年5月1日～5月31日 のぼり旗設置：18カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：12枚（公民館等） チラシ配布：249枚（全戸配布）</p> <p>⑪ 相去地区 実施期間：5年4月5日～5月31日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター、保育園） ポスター掲示：1枚（交流センター） チラシ配布：8枚（地区内回覧）</p> <p>⑫ 鬼柳地区 実施期間：5年4月6日～5月31日 のぼり旗設置：15カ所（交流センター等） ポスター掲示：3枚（交流センター、小学校） チラシ配布：112枚（地区内回覧）</p> <p>⑬ 江釣子地区 実施期間：5年4月11日～5月2日 のぼり旗設置：8カ所（交流センター、通学路等） ポスター掲示：1カ所（支部事務室） チラシ配布：305枚（地区内回覧）</p> <p>⑭ 和賀地区 実施期間：5年4月1日～4月30日 のぼり旗設置：10カ所（交流センター、公民館） ポスター掲示：10枚（交流センター、公民館）</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>7 社協出前講座（講師派遣事業）</p> <p>① 派遣回数：8回 ・小学校：1回 ・一般：7回</p>	<p>地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、福祉に関する学習や研修を支援しました。</p> <p>学校からの依頼件数は減少傾向にありますが、</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
② 参加人数：延べ206名 ③ メニュー登録数：11（北上市出前講座登録数）	市民等からの依頼は増加し、成年後見制度やコミュニティソーシャルワーカーの活動に対する理解が図られました。 【指標】 派遣30カ所、参加人数延700名

(2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ボランティア講座 (1) ボランティア発見講座【基礎編】 ① 期 日：5年7月29日（土） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：24名（高校生20名、中学生4名） ④ 内 容：ボランティア活動についての講話、キャップハンディ体験、活動紹介、ワークショップ (2) ボランティア発見講座【実践編】 ① 期 日：5年7月31日（月）～10月8日（日） ② 会場等：北上市総合福祉センター、相去保育園、黒沢尻保育園、たちばな保育園、放課後等デイサービス事業所リトルグラス、北上総合運動公園、広瀬川周辺 ③ 参加者：23名（高校生19名、中学生4名） ④ 内 容：放課後等デイサービスでの余暇活動支援、保育補助、ランフェスキタかみ運営補助、河川清掃 (3) ボランティア活動応援講座 ※インフルエンザ感染拡大防止のため中止	福祉やボランティアに関する知識と関心を深め福祉意識の向上を図り、「支え合い」の心を育むことを目的として、学生向けの講座を開催しました。 ボランティア発見講座の基礎編では、学生を対象にボランティア活動についての講話や岩手県立大学学生による活動報告、ボランティア活動を考えるワークショップを実施し、福祉やボランティア活動に対する理解を深めました。また、キャップハンディ体験を通して、障がい者に対する接し方等を学びました。 実践編では、市内のボランティア団体や北上市社会福祉法人連絡会等が募集する活動の中から、参加者が希望する活動を選択し、自主的にボランティア活動を行いました。 なお、一般向けに開催予定としていた「ボランティア活動応援講座」は、インフルエンザ感染拡大を考慮し中止しました。 【指標】 参加者数 中高生60名、一般60名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 福祉協力員活動事業（住民グループ支援事業） 【市委託事業（一部）】 (1) 委員会 第1回 ① 期 日：5年4月7日（金） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：13名 ④ 内 容： ・4年度事業報告及び収支決算について ・5年度事業計画及び収支予算について ・5年度総会及び全体研修会について	地域福祉活動の推進役として要援護者に対する見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や福祉に関する情報提供に努めました。 また、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。 コロナの5類移行に伴う高齢者の外出機会も増加傾向にあることから、自宅以外での直接的な安否、近況確認の機会が増加し、間接的な見守り活

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>第2回</p> <p>① 期 日：5年6月5日（月）</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 参加者：13名</p> <p>④ 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会役割分担の見直しについて ・総会書記について ・令和5年度役員研修について <p>第3回</p> <p>① 期 日：6年3月27日（水）</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 参加者：10名</p> <p>④ 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年度事業報告及び収支決算について ・6年度事業計画及び収支予算について ・6年度総会及び全体研修会について <p>(2) 総会及び全体研修会</p> <p>① 期 日：5年4月21日（金）</p> <p>② 会 場：さくらホール大ホール</p> <p>③ 出席者：204名</p> <p>④ 内 容：</p> <p>ア 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年度事業報告及び収支決算について ・5年度事業計画及び収支予算について <p>イ 全体研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題：「住民で支える地域福祉～ご近所福祉スタッフの活動について」 <p>講師：奥州市社会福祉協議会 地域福祉課長補佐 岩淵 達也 氏 奥州市水沢真城行政区堤尻自治会 社会福祉部長 佐藤 明子氏</p>	<p>動は減少しました。</p> <p>【指標】充足率100%</p> <p>以下は、事業名、内容及び実績の続き</p> <p>(3) 役員研修会(意見交換会)</p> <p>① 期 日：5年10月30日（月）</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 出席者：委員13名、監事1名</p> <p>④ 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉協力員活動の手引きについて ・福祉協力員経験者(OB)への協力依頼について ・第5次北上市地域福祉活動計画策定について ・令和6年度事業計画について <p>(4) 訪問活動</p> <p>① 福祉協力員数：329名</p> <p>② 活動回数：延べ84,730回</p> <p>※月別状況等はP34参照</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 ボランティア活動センター事業</p> <p>(1) 運営委員会の開催</p> <p>① 期 日：5年9月25日（月）9名出席 6年2月26日（月）13名出席</p> <p>(2) ボランティア登録者数：157名（個人）</p> <hr/> <p>(3) ボランティア保険</p> <p>① 加入者数：3,198名（活動保険のみ）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行される中、各種ボランティア活動に一部制限がある状況でしたが、ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、当協議会で行っているボランティア活動や団体のボランティア活動に関する情報提供を行い、マッチング及び登録の推進を図りました。</p> <p>【指標】ボランティア活動実践者個人250名</p> <p>ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティ</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>② 事故件数：4件(活動保険2件、行事保険2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス利用者宅で蜂に右頬刺傷 ・ふれあい関係文書配布中、犬に左ふくらはぎを噛まれ裂傷 ・いきいき百歳体操参加途中、転倒し左足打撲 ・運動会参加中、転倒し膝挫傷 	<p>ア保険への加入を促進しました。</p> <p>なお、発生した事故のケガは、すべて治癒及び通院が終了し保険金が支給されました。</p>
<p>(4) ボランティア活動情報ボード事業</p> <p>① 掲示登録団体：10団体</p> <p>② 掲示依頼枚数：4枚</p>	<p>情報ボード(さくらホール、生涯学習センター、総合福祉センター)を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。</p>
<p>(5) 日曜大工ボランティア</p> <p>活動：0件(申請依頼0件)</p>	<p>一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等に対するボランティア派遣ですが、活動件数はありませんでした。</p> <p>技術を持つボランティアの確保に努め、必要な方に支援ができるよう事業の周知を行います。</p>
<p>(6) 企業等の地域貢献活動との連携</p> <p>① 東北緑生(株)による庭木剪定 2世帯</p> <p>② 榊丸片ガスによる河川清掃 1回</p> <p>③ TDKエレクトロニクスファクトリーズ(榊北上工場による保育施設環境整備 2施設)</p> <p>④ パンチ工業(榊北上工場による赤い羽根共同募金街頭募金活動 1回)</p> <p>⑤ FC北上(社会人サッカーチーム)による地域清掃 1回</p> <p>⑥ 企業からの相談に対する情報提供 3件</p>	<p>企業等からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行いました。</p> <p>情報提供の成果により、赤い羽根共同募金運動や地域清掃活動など、新たにボランティア活動に取り組む企業等が増加しました。</p> <p>【指標】企業との連携10社</p>
<p>(7) ボランティア登録者研修会</p> <p>① 期 日：6年2月5日(月)</p> <p>② 会 場：さくらホール(中ホール)</p> <p>③ 参加者：369名</p> <p>④ 講 演：</p> <p>演題：「ひきこもりの理解と支援～当事者の視点から～」</p> <p>講師：一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子 氏</p> <p>⑤ 活動発表：</p> <p>発表者：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北上笑いのたね事業所 所長 後藤 誠子 氏</p> <p>⑥ 北上市内の取り組みの紹介</p>	<p>ボランティア活動センター登録ボランティア等を対象に、ともに支え合う地域社会づくりの推進を図ることを目的に開催しました。</p> <p>講師の体験談を通じて、ひきこもり状態にある方々に対する寄り添いや支援のあり方について考える機会になりました。</p> <p>また、活動発表を通じて市内にある社会資源を知っていただく機会にもなりました。</p> <p>※ふれあいデイサービス事業、ふれあいのまちづくり事業、福祉協力員協議会事業、生活困窮自立支援事業及びひきこもりサポート事業と合同で開催</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 福祉人材R eスタート事業 ① 期 日：5年8月7日(月) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 受講者：2名 ④ 内 容：介護保険制度及び障がい福祉制度の講義、居宅実習	ホームヘルパー等の資格があり、結婚や出産、介護や育児等のために離職した方を対象に、現行制度の説明や居宅実習を行い、介護技術の振り返りなど再就職に向けた講座を開催しました。 なお、当事業は参加者の僅少等により、今年度をもって終了することとしましたが、介護に携わる人材の確保及び育成は、市内事業所共通の課題でもあるため、北上市社会福祉法人連絡会と連携した研修等を実施します。また、岩手県福祉人材センター等主催の研修会や講座等を紹介します。 【令和5年度で事業終了】

(3) 子供のころからの福祉教育を大切にし、各関係機関と連携強化のうえ、子供たちに福祉について“ふれる”機会を増やす

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ハウスクリーニング☆プロジェクト ※各種感染症対策により中止	子ども達が夏休みや休日を利用し、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者世帯を訪問して家の清掃ボランティア活動を行い、活動を通して、訪問先の方や参加者同士の世代交流を深めることを目的に開催予定でしたが、各種感染症対策のため中止しました。 これまで一定の成果等はありませんでしたが、時勢の変化（生徒の部活動や習い事、対象世帯の選定等）により事業実施が難しい状況にあることから、本部事業としては廃止し、実施を希望する地区（支部）が主体的に取り組めるよう支援します。 【指標】 実施14地区

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 車いす修理ボランティア事業 ① 車いす修理ボランティア実施校： 黒沢尻工業高校 ② 修理車いす台数：8台	黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉やボランティア活動について理解を深めることができました。 【指標】 修理台数10台

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 児童・生徒のボランティア活動に係る情報交換 ① 期 日：5年11月8日(水) ② 会 場：hoKkoふれあいホール ③ 参加者：27名 ④ 内 容：	市内全ての小学校、中学校、高校及び専門学校の先生を対象に、福祉教育及びボランティア活動に関する取り組みや課題等の情報共有を行い、今後の福祉教育等の更なる充実と推進を図ることを目的に情報交換会を開催しました。 学校、地域及び当協議会が行っているボランティア活動の事例紹介やグループワークを通じて、

<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果について ・社会福祉協議会と学校及び児童生徒が連携して取り組んでいる事業について ・福祉教育等の推進に関する情報交換（グループワーク） 	<p>福祉教育等の必要性を確認することができ、学校と当協議会の連携強化の一助となりました。</p> <p>今後も定期的に福祉教育等に関する連絡会を開催します。</p> <p>【指標】 情報交換会年1回実施</p>
---	---

基本目標2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 小地域ネットワーク活動では、地域の協力をいただきながら小地域を単位とした見守り活動、安否確認及び除雪活動等により、要支援者に対する生活支援を行いました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業及び生活支援コーディネーター活動事業では、関係機関との会議等を通じて情報収集・共有を図り、アウトリーチ活動の強化を意識して地域・支部訪問活動を増回しました。
- 生活支援コーディネーター活動事業では、コーディネーター同士の連携を図りながら、アウトリーチ活動等により新たな地域資源の発掘や地域活動の立ち上げ支援等を行いました。

(1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等がSOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 ふれあいのまちづくり事業及び地域住民グループ支援事業(小地域ネットワーク活動)</p> <p>(1) 通年活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ネット数：13支部、326ネット ② 中心者会議：33回開催 ③ 協力者会議：466回開催 <p>※月別状況等はP34～35参照</p> <p>(2) 除雪活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 対象世帯数：544世帯(ネット対象者と重複有) ② 協力者数：650名(ネット対象者と重複有) ③ 活動回数：4,054回(ネット対象者と重複有) 	<p>小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。</p> <p>また、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増加している中、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域で除雪活動を行いました。</p> <p>なお、北上市が実施している地域除排雪制度について、北上市と連携し改善を図りながら地域の除雪体制の支援を行いました。</p> <p>協力者の高齢化や不足している地区があることから、特にも除雪活動については、中高生や企業等が参加する仕組みづくりを検討し、若い世代の担い手の確保に努めます。</p>

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 コミュニティソーシャルワーカー(CSW)活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 配置人数：4名(兼務) ② 有資格者数：11名 ③ 相談件数：78件(生活環境、生活困窮、除雪等) ④ 訪問件数：53件(個別ケース対応) 	<p>定期的にCSW会議を開催し、ケース検討や対応方法等を確認・情報共有するとともに、関係機関の会議への出席や各種団体へのアウトリーチ活動により、地域における福祉課題等を情報収集しました。</p> <p>また、生活支援コーディネーターやひきこもり</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
⑤ 訪問活動：81回(支部、事業所等) ⑥ ケース検討会：37回 ⑦ C S W会議：12回 ⑧ その他：155回(出前講座対応、研修受講等)	相談支援員、暮らしの自立支援センターきたかみ職員等と連携し、課題を抱えた世帯への相談支援活動を行いました。 今後も、小地域ネットワーク活動の会議等に参加するなど積極的にアウトリーチ活動を行い、潜在ニーズや課題の把握、地域資源の開発等に努めながら地域福祉の向上を図ります。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 生活支援コーディネーター活動事業 【市委託事業】 ① 配置人数：1名 ② 有資格者数：3名 ③ 相談件数：15件(当協議会事業、生活課題等) ④ 訪問件数：15件(個別ケース対応) ⑤ 訪問活動：31回(支部、事業所等) ⑥ ケース検討会：13回 ⑦ S C 会議：12回 ⑧ その他の活動：79回(養成講座、研修等)	第1層コーディネーター(北上市、社協)と第2層コーディネーター(地域包括支援センター)の定例会議に出席し、活動状況や課題等を協議し情報共有を行ったほか、コーディネーター同士の連携を図りながらアウトリーチ活動や高齢者の集いの場を訪問し、新たな地域資源の発掘や立ち上げに係る支援を行いました。 今後も、高齢者の生活支援ニーズや地域課題の把握と地域の福祉意識の向上を図るため、把握した地域資源を活用し必要とする方とのマッチングを行うとともに、地域活動に取り組む担い手の養成や発掘を行います。 【指標】 養成研修受講者4名

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 広域社協事業 (1) 令和5年度北上・和賀広域社協総会 ① 期 日：5年6月8日(木) ② 会 場：ブランニュー北上 ③ 出席者：26名(うち北上社協15名) ④ 内 容： ・4年度事業報告及び収支決算について ・5年度事業計画及び収支予算について ・監事の選任について	4年度事業報告及び収支決算報告、5年度事業計画及び収支予算等について審議を行いました。 また、北上市及び西和賀町両社協の事業や地域福祉活動に関する情報交換を行いました。
(2) 令和5年度北上・西和賀地区民生委員・児童委員研修会 ① 期 日：5年10月11日(水) ② 会 場：さくらホール(大ホール) ③ 参加者：191名 ④ 講 演： 演題：「ヤングケアラーについて」 講師：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室主査 松崎 えり子 氏	民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南広域振興局花巻保健福祉環境センターと協働により研修会を開催しました。 講演では、ヤングケアラーの実態や災害発生時における高齢者等の避難支援について、行政説明では、ゲートキーパーとして悩んでいる方への向き合い方等の説明があり、民生委員・児童委員に期待される役割等について理解を深めました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
演題：「災害発生時の高齢者等の避難支援について」 講師：岩手県復興防災部復興くらし再建課主事 飯尾 夏貴 氏 ⑤ 行政説明：「ゲートキーパーの役割について」 説明者：岩手県中部保健所保健師 高橋遥香氏	
(3) 北上・和賀広域社協役職員研修会 ※インフルエンザ感染拡大防止のため中止	役職員の資質向上及び北上市、西和賀町両社協の情報交換を目的に開催予定でしたが、インフルエンザ感染拡大を考慮し中止しました。

基本目標3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- なんでも心配ごと相談センター及び暮らしの自立支援センターきたかみでは、生活福祉資金コロナ特例貸付の償還に係る相談など、生活に困窮している方々に対する相談に対応し支援を行いました。また、赤い羽根共同募金「生活困窮者への緊急支援活動助成」を活用し、生活困窮者等に対する日用品等の配付を通じたアウトリーチや相談事業等により生活支援を行いました。
- 生活困窮者自立相談支援機能強化事業及びひきこもりサポート事業では、アウトリーチ活動を強化し、支援が必要な方等の把握に努めるとともに、関係機関と連携して包括的に支援を行いました。
- 介護保険法及び障害者総合支援法の改正に伴い、新型コロナウイルス感染症及び自然災害発生時における業務継続計画（BCP）を策定するとともに、関連する運営規程を改正しました。
- フードバンク運営事業は、企業等が独自で食料品を集める取り組みを実施する等、寄付件数が増加し安定した運営につながっていると同時に、支え合う地域づくりの気持ちが広がっています。

(1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 なんでも心配ごと相談センター事業 ① なんでも心配ごと相談センター ・北上市総合福祉センター 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (司法書士相談) 毎月第2、4木曜日 13:00～16:00 ② 開設日数：243日 ③ 相談人数：1,163名(うち司法書士相談11回、14名) ④ 相談件数：延べ1,970件 ※月別状況等はP35参照	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹介を行いました。 無料司法書士相談の件数が増加しており、債務整理や相続等の相談に対し、専門的な助言により解決の方向性を見出す支援ができました。 また、相談内容においては、スマートフォンに関連する高齢者や障がい者の詐欺サイト等への被害相談が増加しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 相談員スキルアップ事業</p> <p>① 開催回数：5回</p> <p>② 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談受付から評価方法について ・失業後に活用できる制度について ・通信困窮者支援について ・相談員の基本倫理と姿勢について ・支援プラン及び帳票作成について <p>③ 参加人数：延べ59名</p>	<p>相談員の資質向上を図るため、内部研修を実施し、相談員として必要な知識を学ぶことができました。</p> <p>複雑な課題を抱えた相談者等に対して適切な相談対応ができるよう、継続的に研修を実施し資質向上に努めます。</p> <p>【指標】内部研修会 年3回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 トータルガイドブック作成事業</p> <p>北上市内の福祉サービス等を集約した冊子を作成しています。</p>	<p>あらゆる相談に対して適切な対応や専門機関への橋渡しを行うため、北上市内の民間も含めた関連サービス(フォーマル・インフォーマルサービス)をまとめた冊子について、既存の情報を更新し関係機関等へ配布しました。</p> <p>【指標】作成・配布</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 ひきこもりサポート事業【市委託事業】</p> <p>① ひきこもり相談支援員1名</p> <p>② 相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者数：28名(うちLINE相談3件) ・継続相談者数：38名 ・相談内容：不登校、就労、生活困窮、家族関係など ・対応件数：延べ416回 ・ピアサポーター登録者数：2名 <p>③ 個別相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：5年5月29日(月)、7月27日(木)、9月11日(月)、11月13日(月)、6年1月16日(火)、3月11日(月) 13時～16時 ・会場：北上市総合福祉センター ・専門相談員：そらをみた会代表(岩手県ひきこもり支援センター相談員) 阿部 直樹 氏 ・相談者数：延べ15名(実人数5名) <p>④ ひきこもり等支援に係る情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：5年6月29日(木) 6年3月15日(金) 	<p>ひきこもりに特化した相談窓口を設置し、当事者や家族、関係機関からの相談に応じ、助言や情報提供を行いました。また、新たにLINEを活用した「LINE相談」を開始し、相談体制の拡充を図りました。</p> <p>ひきこもり状態及び不登校の方やその家族が抱える複合的な課題や悩みについて、専門相談員の助言をいただく個別相談会を開催し、複雑化・長期化している課題へ対応することができました。</p> <p>不登校・ひきこもり支援の周知啓発として、講演会を開催し、市民や関係機関の方に広く理解をいただくことができました。</p> <p>SOSを出せない当事者など相談まで至らない方に対するアプローチの方法、また、高校退学や退職等により所属がなくなり孤立してしまう方に対する早期の関与方法等を検討・研究します。</p> <p>以下は、事業名、内容及び実績の続き</p> <p>⑤ 北上市社会福祉協議会合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：6年2月5日(月) ・会 場：さくらホール(中ホール)

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>※子ども食堂運営団体のみ 6年3月22日(金) ※不登校・ひきこもり支援 団体のみ</p> <p>・会 場：ワラタネスクエア 北上市総合福祉センター</p> <p>・参加団体 不登校・ひきこもり支援団体5団体 子ども食堂運営団体6団体 北上市障がい福祉課 北上市社会福祉協議会</p> <p>・内 容 各団体の活動内容及び活動状況紹介 各団体の実施予定イベントや行事等 メーリングリストの作成について 各団体の課題について</p>	<p>・参加者：369名</p> <p>・講 演： 演題：「ひきこもりの理解と支援～当事者の 視点から～」 講師：一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子 氏</p> <p>・活動発表： 発表者：労働者協同組合ワーカーズコープ センター事業団 北上笑いのたね事業所 所長 後藤 誠子 氏</p> <p>・北上市内の取り組みの紹介 ⑥ 北上市ひきこもりネットワーク協議会 ・協議会への参加：2回</p> <p>※月別状況等はP36参照</p>

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの開拓と既存サービスの随時見直し

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 日常生活自立支援事業・成年後見推進支援事業【県社協委託事業】</p> <p>① 専門員及び生活支援員数 ・専門員 2名、生活支援員 13名</p> <p>② 北上基幹社協管内生活支援員会議等 ・生活支援員会議 2回 ・関係機関連絡会議 1回 (関係機関連絡会議には生活支援員会議を含む)</p> <p>③ 契約件数及び支援状況等 ・契約件数(今年度)：10件 ・契約件数(累計)：169件(支援中57件) ・専門員訪問回数：248回 ・支援員支援回数：647回</p> <p>※月別状況等はP36参照</p>	<p>金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福祉サービスを利用するために必要な手続き等を支援しました。</p> <p>なお、特に高齢の利用者が多いことから、定期的な訪問による利用者の生活や体調の変化等の見守りを行い、関係機関との情報共有を行いました。</p> <p>また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲載による普及啓発を行いました。</p>

④ 契約件数(市町別)

	令和6年3月末日 実利用者	契約件数
北上市	39	134
西和賀町	18	35
計	57	169

⑤ 契約件数（対象者別）

事 項	契約者					合計	うち 生活保護
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他			
契約件数	106	37	24	2	169		
実利用者	24	21	12	0	57	14	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 車いす及びチャイルドシート貸出事業</p> <p>(1) 車いす</p> <p>① 利用者数：延べ60名</p> <p>② 保有台数：13台</p> <p>(2) チャイルドシート</p> <p>① 利用者数：46名</p> <p>② 保有台数：40台（うち寄付台数：31台） （今年度寄付：1台）</p>	<p>利用希望者に対して希望どおり貸出しを行うことができ、障がい者や高齢者、子育て世帯の社会参加や移動の一助となりました。</p> <p>チャイルドシートは、利用者数が前年度の3倍近くとなり、事業の認知度や定着化が図られてきている一方、時期的に貸出希望が集中することもあることから、限られた保有台数で円滑に安定した貸し出しができるよう、貸出期間の見直しを行いました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】</p> <p>① 利用登録者数：32名</p> <p>② 配食日数：197日</p> <p>③ 提供食数：延べ2,656食</p> <p>④ 調理ボランティア人数：延べ708名</p> <p>⑤ 配送ボランティア人数：延べ1,076名</p> <p>※月別状況等はP36参照</p>	<p>在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯に対して、調理及び配送ボランティアの協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。</p> <p>また、季節に応じた献立作成や行事食を提供するとともに、保育園給食との献立交換を通じて、園児と高齢者がお互いに食べることの楽しみと関心を高めました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 北上おげんき発信事業</p> <p>利用登録者数：11名</p> <p>※月別状況等はP37参照</p>	<p>見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話での安否確認による見守りを行い、不安の解消につなげました。</p> <p>また、必要に応じて小地域ネットワーク活動による見守り体制を構築する等、利用者の生活状況にあわせた支援につなげました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 障がい者等生活支援事業【市委託事業】</p> <p>※各種感染症対策により中止</p>	<p>視覚障がい者の自立生活を支援することを目的に料理教室を開催する予定でしたが、各種感染症対策のため中止しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行以前から、参加者が固定化・減少傾向にあることから、ニーズや事業のあり方等について市と協議を行います。</p> <p>【指標】参加者10名</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>6 声及び点字広報作成事業【市委託事業】</p> <p>① 声の広報作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 朗読内容及び回数 <ul style="list-style-type: none"> 広報きたかみ 12回 社協だより 4回 市議会だより 4回 敬愛園だより 12回 ふれあい119 1回 物故者 12回 月刊さくらホール 12回 総発送数：延べ491回 利用者数：18名、3施設 朗読団体：サークルのぎく 12名 サークルせきれい 14名 	<p>広報きたかみや社協だより等の掲載内容を声の広報（CDまたはカセットテープに録音）として作成し、視覚障がい者に情報提供しました。</p> <p>また、録音した声の広報をボランティア会員内で確認するとともに、岩手県視聴覚障がい者センター主催の研修会に参加し、音読の速さや発音等の技術の向上に努めました。</p>
<p>② 点字広報作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 点訳内容及び回数 <ul style="list-style-type: none"> 広報きたかみ 12回 総発送部数：24部 利用者数：2名 点字作成団体：北上点訳の会 19名 	<p>広報きたかみを点訳し、点字広報として視覚障がい者に情報提供しました。</p> <p>また、定期的に勉強会を開催し、ボランティア会員同士の交流を図るとともに、点訳ミスの有無等について確認し、技術の向上に努めました。</p>
<p>③ 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会</p> <p>※各種感染症対策により中止</p>	<p>声の広報・点字広報利用者と音声訳・点訳ボランティアが一堂に会し、情報交換や意見交換・交流を深めることを目的に開催予定でしたが、各種感染症対策のため中止しました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>7 居宅介護支援事業</p> <p>契約者数：48名</p> <p>※月別状況等はP37参照</p>	<p>要介護者の心身の特性を踏まえ、個人の保有能力、介護者の介護力等の評価等を行いながら、介護支援計画を作成するとともに、その都度必要なサービスの見直しを行いました。また、当協議会の特性を活かし連携を図りながら、困難ケースについても対応・支援を行いました。</p> <p>引き続き、きたかみ型地域包括ケアビジョンの方針に沿いながら、サービス事業者等と更に連携を図り、利用者の在宅生活等を支援します。</p> <p>【指標】継続実施</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>8 障がい者相談支援事業</p> <p>契約者数：28名</p> <p>※月別状況等はP37参照</p>	<p>障がい者や家族等の相談に応じ、利用者が希望する生活を実現するため、必要なサービスの情報提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がいの特性に沿ったサービス等利用計画を作成しました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	<p>引き続き、障がい者が自立した生活を送ることができるよう、医療機関や障がい福祉サービス事業者等と連携し、北上市障がい者プランに沿った事業を実施するとともに、高齢障がい者が介護保険制度へのスムーズな移行ができ、切れ目なくサービスが利用できるよう支援します。</p> <p>【指標】継続実施</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>9 訪問介護事業</p> <p>(1) 訪問介護事業（介護保険）</p> <p>① 契約者数：15名</p> <p>② 利用者数：延べ191名</p> <p>③ 派遣回数：1,729回</p> <p>※月別状況等はP38参照</p>	<p>要介護者が自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者に関わるケアマネジャー、地域包括支援センター、医師及び訪問看護師等の他職種・他事業所との連携を図り、自立した在宅生活が継続できるよう支援しました。</p> <p>なお、高齢化の進行によりサービス量の増加が見込まれる中で、全国的にも介護人材が慢性的に不足となっており、当事業所としても訪問介護員の増員・採用が困難なため、募集方法の見直しや検討を行います。</p> <p>【指標】継続実施</p>
<p>(2) 障害者訪問介護事業（障害者総合支援法）</p> <p>① 契約者数：28名</p> <p>② 利用者数：延べ243名</p> <p>③ 派遣回数：3,436回</p> <p>④ 同行援護従業者養成研修</p> <p>・5年9月11日～13日（一般課程）修了者7名</p> <p>・5年9月19日～20日（応用課程）修了者7名</p> <p>※月別状況等はP38参照</p>	<p>障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。</p> <p>また、視覚障がい者に対する外出等の移動支援の充実を図るため、同行援護従業者養成研修を実施し、当事業所を含む県内介護サービス事業所等で勤務する同行援護従業者を養成しました。</p> <p>【指標】継続実施</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>10 障害者等移動支援事業（障害者総合支援法）</p> <p>① 契約者数：8名</p> <p>② 利用者数：延べ38名</p> <p>③ 派遣回数：80回（買物、趣味活動等）</p> <p>※月別状況等はP38参照</p>	<p>障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援しました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い外出機会が増えたため、派遣回数が増加しました。</p> <p>【指標】継続実施</p>

事業名内容及び実績	成果や課題等
11 成年後見利用支援事業 受任者数：1名（保佐人1名）	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産管理について不利益を被ることがないように、当協議会が成年後見人として、受任者の生活を支援しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
12 訪問理美容事業 （ふれあいのまちづくり事業） ① 利用者実数：33名 ② 利用回数：53回（理容店49回、美容店4回） ※月別状況等はP34参照	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、自宅を訪問し理容・美容（整髪）を行いました。 利用者実数及び利用回数ともに増加しておりますが、更に事業を必要とする方が利用できるよう、社協だよりや支部活動、ケアマネジャー等福祉関係者への広報活動を行うとともに、当協議会事業で対象となり得る方々に対して周知を図ります。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 住まいの片づけ応援事業 ① 相談件数：4件 ② 訪問件数：3件 ③ 打合せ：1回 ④ 実施件数：1件 ・期 日：5年6月9日（金） ・活動人数：11名 ・連携機関：民生委員児童委員、北上市職員	自宅又は敷地内にごみが放置され、生活に支障がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築しながら、地域で安心して生活することができるよう生活環境の改善を支援しています。 相談のあった世帯への訪問調査、本人や親族、地域支援者との協議等を踏まえ、1世帯の片付けを支援しました。 なお、清掃活動に至らないケースもありましたが、清掃業者へのつなぎや定期的な訪問活動を継続しています。 【指標】随時実施

(3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】 ① 開設行政区：125行政区 ② 開設ふれデイ箇所：148箇所 ③ 実施回数：延べ1,614回 ④ 利用者数：延べ16,037名（参加率21.5%） ⑤ ふれデイ協力者数：延べ8,124名 ※月別状況等はP39参照	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動（趣味活動、レクリエーション活動等）を実施し、高齢者の生きがいづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図りました。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、「新型コロナウイルス感染防止に配慮したふれあいデイサービスの運営ガイドライン」は廃止しましたが、他の感染症等にも対応できるよう、新たな開催方法（分散開催、グループ開催、訪問活動）は継続で実施できるよう配慮しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	<p>今後は、広い世代の参加による地域づくりの場としての活用を検討します。</p> <p>【指標】参加率40%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 障害者地域活動支援センター事業</p> <p>【障害者総合支援法】</p> <p>① 創作活動及び機能訓練：6 教室</p> <p>② 契約者数：35名</p> <p>③ 開催回数：94回</p> <p>④ 利用者数：延べ372名</p> <p>※月別状況等はP39参照</p>	<p>障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。</p> <p>【指標】利用登録者数50名</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 障がい者リフレッシュ事業</p> <p>※各種感染症対策により中止</p>	<p>心身に障がいを持つ方を対象に、仲間とのふれあいや親睦、社会参加の促進や生きがいを高めることを目的に実施予定でしたが、各種感染症対策のため中止しました。</p> <p>コロナ禍により近年開催していなかったこと、従前と比較し外出する機会の確保ができること等から、当事業は今年度をもって終了しました。</p> <p>【指標】行事開催 年1回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 子育て支援事業</p> <p>(1) 子育てサロン</p> <p>① 開催回数：11回【毎月1回(第3木曜日、10時から正午)】</p> <p>うち2回は参加者なし</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 参加者数：延べ102名</p> <p>④ ボランティア活動人数：延べ61名</p> <p>※月別状況等はP39参照</p> <p>(2) 子育て用品お譲り会</p> <p>※各種感染症対策により中止</p>	<p>子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、子育ての不安や悩みを軽減しました。</p> <p>また、内容の充実により親子や参加者同士の交流も活発になり、継続して参加する親子も増加しています。</p> <p>なお、子育て用品お譲り会は、各種感染症対策のため中止しました。</p> <p>【指標】サロン開催 月1回</p> <p>子育て用品譲渡会開催 年1回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 ひとり親世帯支援事業</p> <p>※各種感染症対策により中止</p>	<p>ひとり親世帯(母子・父子家庭等)を対象に、行事の開催を通じて親子のふれあいやひとり親家庭相互の交流を深めることを目的に開催予定でしたが、各種感染症対策のため中止しました。</p> <p>なお、岩手県において「ひとり親家庭等応援サポートセンター」を設置するなど、日常的に相談</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	支援を行う環境が整ったこと等から、当事業は今年度をもって終了しました。 【指標】 行事实施 年1回

内容及び実績	成果や課題等
6 出会いの場づくり事業 (1) 関係機関への情報提供等	岩手結婚サポートセンター（i-サポいわて）からの照会に対し、当協議会の婚活支援に係る実施状況等について情報提供を行いました。 なお、従前開催されていた県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議については開催されませんでした。
(2) 婚活イベントの開催 ※各種感染症対策により中止	結婚活動の支援として男女の出会いの場を提供することを目的に開催予定でしたが、各種感染症対策のため中止しました。 なお、コロナ禍により近年開催していなかったこと、マッチングアプリ等SNSを通じた支援が充実してきていること等から、当事業は今年度をもって終了しました。 【指標】 イベント実施 年1回 各団体との意見交換会

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援、子どもの学習支援、自立相談支援機能強化) 【市委託事業】 ① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置主任相談支援員1名、相談支援員兼就労支援員3名、学習相談支援員1名、アウトリーチ相談支援員1名 ② 相談者実数：255名 ③ 相談申込（同意）者数：61名 ④ プラン策定者数：41名（再プラン4名を含む） ⑤ 相談方法及び内容 ※月別状況等はP40参照	年齢や属性に関わらず広く相談に対応し、個別のケースに応じて包括的・継続的な支援を行いました。また、アウトリーチ活動により、支援を必要とする方の把握に努めました。 生活福祉資金コロナ特例貸付の返済が滞っている方に対して、関係機関と連携しながらフォローアップ支援を行うことができました。 複雑かつ多くの課題を抱えた世帯からの相談や精神疾患の方、長期にわたり継続的な支援が必要な世帯が増加していることから、相談体制の強化を図り、関係機関と連携し支援を行います。 なお、関係機関に対する周知を図るため、新たに生活困窮者自立支援事業や住居確保給付金のパンフレットを作成し配付しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>西和賀町生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援) 【県委託事業】</p> <p>① 相談支援員 1 名 ② 相談者実数：41名 ③ 相談申込（同意）者数：1 名 ④ プラン策定者数：1 名 ⑤ 相談方法及び内容 ※月別状況等は P41 参照</p>	<p>西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。</p> <p>なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。</p> <p>今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ活動を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 フードバンク運営事業</p> <p>① 寄付件数：318件（うちフードポスト68件） ② 提供件数：323件 ※月別状況等は P42 参照</p> <p>2-1 物品貸出</p> <p>① 貸出件数：5 件 ② 貸出内容：携帯電話、カセットコンロ、電気ポット、調理なべ等</p>	<p>当協議会相談者のうち、緊急に食料支援が必要な生活困窮者等の世帯に対して支援を行い、食の確保や自立に向けた意欲の向上を図ることができました。</p> <p>なお、事業の認知度が向上し、個人に加え企業や団体等からの寄付が増加しており、寄付者の意向に沿って、市内の子ども食堂へも定期的に提供を行いました。</p> <p>携帯電話やライフラインが一時的に停止している相談者に対して、必要物品を貸出しし、就労支援及び生活支援を行いました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 子どもの学習支援事業（まるまる学び塾） 【市委託事業】</p> <p>① 開催回数：45回 ・毎月第1及び第3木曜日17:00～19:00 ・毎月第2及び第4土曜日10:30～14:30 ・夏休み及び冬休み各5日10:30～14:30 ② 会場：北上市生涯学習センター ③ 登録者数：21名（小学生14名、中学生7名） ③ 参加者数：延べ340名 ④ ボランティア活動人数：延べ242名 ⑤ それぞれの進路相談会 ・期 日：5年10月28日（土） ・会 場：北上市生涯学習センター ・参加者：28名</p>	<p>家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が十分でない子どもたちを対象に、学習支援ボランティアの協力を得て学習支援と学習の場（居場所づくり）の提供を行いました。</p> <p>登録参加世帯から、生活に関する相談を受けて関係機関につなげるなど、当事業が生活困窮世帯等の抱える課題等を把握する場になっています。</p> <p>なお、子どもの学習支援事業の開催日にあわせて、進学・就職など様々な進路があることを紹介し進路選択の一助となるよう、進路相談会を実施しました。</p> <p>【指標】 定期開催実施 週1回 長期休業中実施 年2回 利用登録者数 50名</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
(生徒・保護者8名、教員3名、関係者17名) ※月別状況等はP42参照	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 地域まるまる食堂（子ども食堂）事業</p> <p>① 開催回数：11回</p> <p>② 会 場：北上市生涯学習センター</p> <p>③ 参加者数：延べ292名 (小学生67名、中学生9名、保護者等70名、一般61名 ボランティア85名)</p> <p>④ 内 容：あそびの時間、まなびの時間、 食堂開設</p> <p>⑤ 市内子ども食堂数：5カ所</p> <p>⑥ 開設相談：4件</p> <p>※月別状況等はP43参照</p>	<p>学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」 (子ども食堂)を実施しました。</p> <p>子どもだけではなく、保護者や地域の方にも参加していただき、みんなの居場所づくりや世代間交流を行うことができました。</p> <p>また、子ども食堂の開設に係る相談にも随時対応するとともに、市内の子ども食堂実施団体による情報交換を行い、連携を深めることができました。</p> <p>【指標】月1回実施 地域実施箇所数 5カ所</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 たすけあい資金貸付事業</p> <p>① 貸付状況：40件、 851,000円</p> <p>② 償還状況：67件、 526,611円</p> <p>③ 貸付残高：79件、1,860,000円 (貸付残高は徴収不能欠損処理後)</p> <p>※月別状況等はP43参照</p>	<p>低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子で貸付けしました。</p> <p>世帯の自立に向けて生活困窮者自立支援事業と連携し、関連するフードバンク運営事業とあわせながら迅速かつ効果的に対応しました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>6 生活福祉資金貸付事業 (実施主体：岩手県社協、相談窓口：当協議会)</p> <p>① 貸付状況： 30件、 6,584,200円</p> <p>② 償還状況：延べ5,783件、 40,578,261円</p> <p>③ 貸付残高： 1,220件、505,973,285円</p> <p>※月別状況等はP44～47参照</p>	<p>低所得世帯等に対して、修学資金や生活費等の資金を低利子(一部無利子)で貸付けしました。</p> <p>新型コロナウイルスに係る特例貸付については、償還が困難な世帯にフォローアップを行い、償還免除や償還猶予、少額返済の申請について支援を行いました。</p> <p>また、赤い羽根共同募金「生活困窮者への緊急支援活動助成」を活用し、特例貸付者で支援の必要な方や当協議会相談者の生活困窮者等に対し、日用品等の配付を通じたアウトリーチや相談事業等により、生活支援を行いました。</p>

基本目標 4 暮らしやすい地域環境づくり

- 地域福祉活動応援事業では、地域福祉を推進する先進的な活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。
- 買物支援事業では、社会資源の一覧を整理及び更新するとともに、北上市社会福祉法人連絡会事業として実施した取り組みに当協議会も参画・協力しました。

(1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 支え合いマップ作成事業 ① 作成済地区：23地区	<p>地域で見守りが必要な要援護者と地域内の社会資源等との関わりが一目で分かるようマップの作成を支援しています。</p> <p>今後は、より効果的な事業にするため、コミュニティソーシャルワーカー活動の一環として実施し、マップを作成する利点や活用方法を周知するとともに、作成したマップの更新作業を支援します。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 買物支援事業 市内の買物に係る事業者等の一覧作成	<p>買物支援を行う事業者等の一覧を最新の情報に整理するため、スーパーやコンビニエンスストア等を対象にアンケート調査を行い、一覧を更新しました。地域包括支援センター等の関係機関を通じて、必要とする方へ配付し活用につなげます。</p> <p>また、そのほか買物支援の方法等を研究します。</p> <p>なお、社会福祉法人連絡会では、継続し試行的に買物支援事業に取り組むことから当協議会も参画・協力します。</p> <p>【指標】 試行実施</p>

内容及び実績	成果や課題等
3 ふれあい移送サービス事業 ① 移送車両：3台 (車いす搭乗2台、回転シート1台) ② 利用登録者数：70名 ③ 利用人数：延べ277名 ④ 運転ボランティア人数：延べ271名 ⑤ 事務局対応：6回 ⑥ 介助ボランティア人数：延べ 0名 ⑦ 新規ボランティア登録人数： 4名 ※月別状況等はP48 参照	<p>既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等を対象に、通院や公共機関での諸手続きの際に移送サービスを提供し、生活支援を行いました。</p> <p>今後もサービスを必要とする方が利用できるよう周知を図るとともに、ボランティアの確保に努め、安定した事業運営を行います。</p> <p>【指標】 充足率100%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 地域福祉活動応援事業</p> <p>① 助成団体：2団体（継続1団体、新規1団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男だらけの育児caféいわて ・むらさきの子ども食堂の会 <p>② 助成金額：187,000円</p>	<p>地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。</p> <p>今年度は継続1団体、新規1団体に対して助成を行い、また、申請には至らなかったものの、問い合わせが1件ありました。</p> <p>必要とする地域・団体等に活用いただけるよう更に広報やホームページ等で周知を行い、事業の認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を行います。</p> <p>【指標】助成額300,000円</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 災害ボランティアセンター事業</p> <p>(1) 広域市町村ネットワーク連絡会議への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：5年7月25日（火） ・会 場：西和賀町まちなか交流館 ・参加者：2名 ・内 容：岩手県防災ボランティア活動推進指針について 県内の災害ボランティアセンターの状況について 近年の災害対応状況について 各機関・団体による災害対応の取り組みについて 相互連携の必要性について 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の係る研修訓練の実施について 秋田県豪雨災害被災状況について <p>(2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練への参加</p> <p>① 北上・和賀広域圏（北上市・西和賀町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：5年10月12日（木） ・会 場：西和賀町高齢者生活福祉センター悠々館 ・参加者：2名 <p>② 花巻・遠野広域圏（花巻市・遠野市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：5年10月25日（水） ・会 場：花巻市総合福祉センター 	<p>災害ボランティアセンターに係る平時及び災害時の役割分担、連携・協働の在り方を確認及び協議するとともに、平時から関係機関及び団体の「顔の見える関係」のネットワークを構築し、様々な取り組みを円滑に行うことを目的に「広域市町村ネットワーク連絡会議」が西和賀町で開催され、当協議会も参加しました。</p> <p>また、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が県内各広域社協圏域で開催され、市町村社協災害時相互支援協定に基づき、支援社協として当協議会職員も参加し、災害ボランティアセンターの設置から運営までの流れ、運営時の留意点等を共有し、関係機関との連携強化及び職員の資質向上を図りました。</p> <p>なお、秋田県大雨災害（5年7月）及び能登半島地震災害（6年1月）では、被災地災害ボランティアセンター運営支援のため、県内市町村社協に職員の派遣要請があり、当協議会も派遣体制を整えましたが、調整の結果、県内他市町村社協が割り当てとなり、当協議会職員の派遣はありませんでした。</p> <p>【指標】設置・運営訓練実施 災害発生時の職員派遣</p> <p>以下は、事業名、内容及び実績の続き</p> <p>(3) 秋田県大雨災害に係る災害ボランティアセンター運営に係る派遣要請への協力</p> <p>① 依頼期間 5年7月29日（土）～9月7日（木）</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：3名 ③ 胆江広域圏（奥州市、金ヶ崎町） ・期 日：5年11月8日（水） ・会 場：金ヶ崎町福祉センター ・参加者：2名 	<ul style="list-style-type: none"> ② 結果 派遣要請に応じ、協力可能な日程を回答したが、調整の結果、当協議会職員の派遣はなし。 (4) 能登半島地震災害に係る災害ボランティアセンター運営に係る派遣要請への協力 ① 依頼期間 6年2月17日（土）～5月5日（日） ② 結果 派遣要請に応じ、協力可能な日程を回答したが、調整の結果、当協議会職員の派遣はなし。

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 社協出前講座（病気及び障がい理解編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 派遣回数：12回 <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所：1回 ・小学校：9回 ・高校：1回 ・イベント：1回 ② 参加人数：延べ1,112名 ③ 体験用具の貸出し：3回 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校：2回 ・中学校：1回 	<p>北上市出前講座のメニューに病気及び障がい理解編の講座を登録し、学校や団体等からの要請に対応しています。</p> <p>体験前に障がいを持つ方への接し方等について講義を行い、障がい者に対する理解を深めることができました。</p> <p>また、北上青年会議所が主催するパラスポーツイベントにキャップハンディ体験ブースを出展し、子どもから大人まで多くの方々に、障がい等について理解をいただくことができました。</p> <p>【指標】派遣30回、参加人数延1,200名</p>

5 地域福祉を推進するための基盤づくりの強化

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 北上市社会福祉法人連絡会に参画し、地域における公益的な取り組みに向けた協議を進めました。
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働し、また、協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、事業の推進や運営に活用しました。
- 第4次北上市地域福祉活動計画における5カ年の総括を行い、第5次北上市地域福祉活動計画策定に向けた取り組みを進めました。
- 第5次北上市地域福祉活動計画策定の取り組みにあわせ、現在の中期経営計画の見直し等を行い、次期中期経営計画（社協発展・強化計画）の策定に取り組みました。

(1) 社会福祉協議会の運営

① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：5年4月17日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第7回：5年10月16日（月） 出席者 9名（役員4名、職員5名）
第2回：5年5月15日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第8回：5年11月15日（水） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第3回：5年6月15日（木） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第9回：5年12月15日（金） 出席者 9名（役員4名、職員5名）
第4回：5年7月18日（火） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第10回：6年1月15日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第5回：5年8月18日（金） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第11回：6年2月15日（木） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第6回：5年9月15日（金） 出席者 8名（役員4名、職員4名）	第12回：6年3月4日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）

② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・5年4月4日（火） ・出席者 理事8名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会常務理事の選定について
第2回 ・5年6月1日（木） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 令和4年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和4年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第3回 ・5年6月22日（木） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会表彰推薦基準の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会会長の選定について (3) 北上市社会福祉協議会副会長の選定について (4) 北上市社会福祉協議会常務理事の選定について

開催期日	議題及び協議事項
	(5) 北上市社会福祉協議会福祉サービス事業に関する苦情解決第三者委員の選任について (6) 北上市社会福祉協議会福祉基金運営委員の委嘱について
第4回 ・ 5年8月24日（木） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 第32回北上市民福祉大会被表彰者の決定について (2) 令和5年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について (3) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第5回 ・ 5年10月26日（木） ・ 出席者 理事11名 監事2名	(1) 第5次北上市地域福祉活動計画策定に係る進捗状況等について
第6回 ・ 5年12月12日（金） ・ 出席者 理事8名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の旅費規程の一部改正について
第7回 ・ 6年3月18日（月） ・ 出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程等の一部改正について (2) 令和5年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (3) 令和6年度北上市社会福祉協議会事業計画について (4) 令和6年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について (5) 北上市社会福祉協議会業務継続計画について

③ 評議員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 5年6月22日（木） ・ 出席者 評議員17名 理 事4名 監 事3名	(1) 令和4年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和4年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会理事の選任について (4) 北上市社会福祉協議会監事の選任について
第2回 ・ 6年3月25日（月） ・ 出席者 評議員15名 理 事3名 監 事2名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の旅費規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程等の一部改正について (4) 令和5年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (5) 令和6年度北上市社会福祉協議会事業計画について (6) 令和6年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回 ・ 5年5月25日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和5年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について (2) 令和4年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算について

開催期日	監査内容
第2回 ・5年8月24日(木) ・出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和5年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第3回 ・5年11月22日(水) ・出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和5年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第4回 ・6年2月22日(木) ・出席者 監事3名 理事2名	(1) 令和5年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・5年6月5日(月) ・出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について
第2回 ・5年9月4日(月) ・出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

⑥ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：5年4月17日(月)	出席者 41名(支部長13名、役職員28名)
第2回：5年5月15日(月)	出席者 41名(支部長12名、役職員29名)
第3回：5年10月23日(月)	出席者 28名(支部長13名、役職員15名)
第4回：6年1月15日(月)	出席者 41名(支部長14名、役職員24名、市職員3名)
第5回：6年2月22日(木)	出席者 27名(支部長12名、代理1名、役職員14名)

⑦ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数			
第1回：5年4月17日(月)	出席者 32名	第7回：5年10月16日(月)	出席者 27名
第2回：5年5月15日(月)	出席者 29名	第8回：5年11月15日(水)	出席者 28名
第3回：5年6月15日(木)	出席者 29名	第9回：5年12月15日(金)	出席者 28名
第4回：5年7月18日(火)	出席者 25名	第10回：6年1月15日(月)	出席者 30名
第5回：5年8月18日(金)	出席者 27名	第11回：6年2月15日(木)	出席者 26名
第6回：5年9月15日(金)	出席者 20名	第12回：6年3月4日(月)	出席者 30名

(2) 社協支部活動運営費の助成 (単位: 円)

支部名	支部運営費	福祉協力員 活動費	小地域ネットワーク事業費		合 計
			ふれまち	住民グループ	
黒沢尻北	696,000	29,000	19,950	372,118	1,117,068
黒沢尻東	624,000	36,000	27,300	543,061	1,230,361
黒沢尻西	562,000	30,000	24,400	285,136	901,536
立 花	236,000	9,000	14,400	110,673	370,073
飯 豊	678,000	31,000	17,600	300,671	1,027,271
二 子	307,000	14,000	2,000	86,186	409,186
更 木	168,000	13,000	8,900	99,535	289,435
黒 岩	151,000	8,000	22,700	63,942	245,642
口 内	195,000	18,000	2,000	26,456	241,456
稲 瀬	152,000	6,000	7,450	160,542	325,992
相 去	551,000	22,000	13,600	406,801	993,401
鬼 柳	379,000	16,000	21,800	88,982	505,782
江 釣 子	700,000	32,000	6,000	309,280	1,047,280
和 賀	875,000	65,000	54,000	722,467	1,716,467
合 計	6,274,000	329,000	242,100	3,575,850	10,420,950

(3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
① 北上市総合福祉センター ・利用件数：1,148件 ・利用者数：19,105名 ② 和賀町総合福祉センター ・利用件数：349件 ・利用者数：4,459名 ※詳細はP48～49参照	北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉活動の拠点として貸出ししています。また、ボランティア団体や趣味の会等の活動の場としても多様に利用されています。 施設管理にあたっては、適正な管理運営や経費の節減に努めました。 両センターとも経年による建物の修繕及び改修について、費用の確保等の検討が必要です。

(4) 社会福祉法人連絡会の組織化

内容及び実績	成果や課題等
1 総 会 ① 期 日：5年4月26日(水) ② 会 場：ホテルシティプラザ北上 ③ 出席者：会場11法人、書面7法人 ④ 内 容： ・4年度事業報告及び収支決算について ・役員を選任について ・5年度事業計画及び収支予算について 2 幹事会 (1) 第1回 ① 期 日：5年6月30日(金)	多様化及び複雑化する地域課題や社会福祉に関するニーズに対応するため、各法人の取り組みや専門性を活かしながら、法人間の連携や協働体制の強化を図り、地域における公益的な取り組みを実施し、市民の福祉向上や地域福祉を更に推進することを目的に北上市社会福祉法人連絡会が組織化され、当協議会も参画し事務局を担っています。 今年度は新たに2つの法人が加入し、市内19法人により組織化されています。 幹事会では、各分科会の取組状況を確認・共有し、今後の方向性や事業計画等を協議しました。

内容及び実績	成果や課題等
<p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 出席者：市内社会福祉法人15法人、20名</p> <p>④ 内 容：買い物支援事業の試行実施について</p> <p>(2) 第2回</p> <p>① 期 日：6年3月8日（金）</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 出席者：17法人、23名</p> <p>④ 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年度事業報告及び収支決算について ・会員の加入について ・6年度事業計画及び収支予算について ・6年度総会について <p>3 監事会</p> <p>① 期 日：5年4月10日（月）</p> <p>② 内 容：4年度事業報告及び収支決算</p> <p>4 分科会</p> <p>(1) 地域課題研究分科会</p> <p>① 会議開催回数：2回</p> <p>② 内 容：</p> <p>買い物支援事業の試行実施及び検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区リーダー打合せ会 ・試行実施(案)について分科会員から意見聴取 <p>③ 買い物支援事業の試行実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数：5名 ・実施回数：3回 第1回：5年9月28日（水） 第2回：5年10月20日（金） 第3回：5年11月20日（月） <p>(2) 人材育成・サービス向上分科会</p> <p>① 会議開催回数：1回</p> <p>② 内 容：研修会の内容等について</p> <p>③ 研修会開催回数：2回</p> <p>第1回</p> <p>期 日：5年4月26日（水）</p> <p>会 場：ホテルシティプラザ北上</p> <p>参加者：65名</p> <p>(会場：42名、オンライン：23名)</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人連携による地域における公益的な取り組みについて ・県内の社会福祉法人連携による取り組みについて 	<p>地域課題研究分科会では、買い物支援事業を試行実施し、成果や課題等を検証した結果、来年度も継続して試行実施することとしました。</p> <p>人材育成・サービス向上分科会では、県内の社会福祉法人連携の先進的な取り組みを聞く機会や、役職員のメンタルヘルスに関する研修会を開催し、会員法人の資質向上の一助となりました。</p> <p>総務及び広報活動分科会では、広報紙を作成し、市内全戸への配布により連絡会の活動について周知を図りました。</p> <p>以下は、内容及び実績の続き</p> <p>④ 講 演：</p> <p>演題：「気持ちよく働いて、いい仕事をする 職場作り～介護・福祉の『感情労働』 によるストレスの向き合い方～」</p> <p>講師：CO. COROサポート 代表 藤村 七美 氏</p> <p>(3) 総務及び広報活動分科会</p> <p>① 会議開催回数：2回</p> <p>② 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌発行(きたかみ福祉のオーケストラ) <p>発行日：5年9月15日</p>

内容及び実績	成果や課題等
第2回 期 日：5年12月18日（月） 会 場：北上市総合福祉センター 参加者：43名 （会場：19名、オンライン：24名）	発行部数：38,500部 ・6年度事業計画及び収支予算の検討

(5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費：16,108,900円（詳細はP50参照） ② 賛助会費：604,000円（302件） ③ 団体会費：84,000円（27件） ④ 特別会費：1,495,000円（141件） 合計 18,291,900円	市民、福祉団体及び企業等に会費の協力をいただくことにより、地域福祉活動に参加していただいています。 当会費は地域福祉を推進する貴重な財源であることから、当協議会の認知度の向上を図るとともに、会費の必要性を理解し協力していただけるよう啓蒙活動を行い、会員の拡大に努めます。

(6) 福祉基金の管理状況等

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数
5年7月31日（月） 出席者 7名

② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
・福祉基金 寄付件数：3件 寄付金額：95,000円 ・一般活動 寄付件数：21件 寄付金額：802,473円（現金795,083円） （物品 7,390円） ※詳細はP49参照	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は学習支援事業や地域まるまる食堂に係る運営費など地域福祉活動に役立てました。 また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の増進に役立てました。

助成先（団体名）	助成内容	助成金交付決定額(円)	助成額(円)
北上市手をつなぐ育成会	視察研修事業	40,000	40,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000	10,000
傾聴ボランティアきたかみ	傾聴活動スキルアップ及び広報事業	50,000	44,000
北上市ボランティア連絡協議会	サークル交流研修会と会報の充実事業	43,000	43,000
岩手県聴覚障害者協会北上支部	聴覚障がい者社会参加促進事業	25,000	25,000
きたかみ子育てネット	修悦体でゲームプレタリング事業	48,000	48,000
合計（助成交付決定6団体、助成6団体）		216,000	210,000

③ 福祉基金積立額等（単位：円）

	4年度末 現在高	5年度 積立額	5年度末 現在高	5年度 利金額	備考
一般福祉基金	185,020,934	95,000	185,115,934	2,081,099	
地域福祉基金	75,481,309	0	75,481,309	645,657	うち福祉団体に 210,000円を助成
合計	260,502,243	95,000	260,597,243	2,726,756	

(7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細はP51参照

① 一般募金の実績（単位：円）

目標額	12,110,000
実績額	12,069,229
達成率	99.7%

実績額内訳

戸別募金	7,922,180
法人募金	2,682,380
街頭募金	327,210
学校募金	484,372
職域募金	401,981
その他	251,106

② 歳末たすけあい募金の実績（単位：円）

目標額	3,302,000
実績額	3,371,640
達成率	102.1%

実績額内訳

戸別募金	2,258,515
法人募金	351,112
その他	762,013

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績（単位：円）

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	4	24,000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	81	486,000
支援を必要とする世帯	175	1,050,000
合計	260	1,560,000

(8) 地域福祉活動計画の推進

内容及び実績等

第4次北上市地域福祉活動計画の最終年に当たることから、5か年の計画期間の取り組みを総括し、第5次計画の新たな取り組みや方向性等について検討を行いました。

次のとおり、策定推進委員会の開催をはじめ地域福祉懇談会での意見聴取、市民アンケートを行い、取りまとめ・整理を行いました。

1 地域福祉活動計画策定推進委員会の開催

(1) 第1回 期 日：5年12月21日（木）

会 場：北上市役所

出席者：委員20名

内 容：計画策定の概要等の説明（現計画の振り返りを含む）

2 意見聴取の実施

(1) 地域福祉懇談会【再掲】

・市内14カ所で開催、延べ参加人数480名

・参加者アンケート回答数255名（回答率53.1%）

(2) 地域福祉に関する市民アンケート

・20歳以上の市民1,300名を無作為に抽出、回答数456名（回答率35%）

※回答数のうち、インターネットによる回答130名

3 会議の開催

(1) 社会福祉協議会事務局会議（5回開催）

・各事業の現況と課題、基本目標ごとにおける総括、今後の方向性を整理及び検討

(2) 北上市との合同会議（5回開催）

・北上市が策定する地域福祉計画と一体的に計画を推進するため、進捗状況や課題等について整理し、検証結果及び今後の方向性を検討・確認